

2020 School Guide 山梨県立青洲高等学校

単位制 総合制

- 普通科
- 工業科
(機械工学科・土木工学科)
- 商業科
(ビジネス探究科・ビジネス情報科)

新時代の扉を開け!!

令和2年
4月開校

生み出すつながり
創り出すあした!

Start!! SEISHU WAY

～ 令和時代の幕開けに合わせて市川高校の隣接地に
新しい単位制・総合制高校がスタートします ～

高い志を持ち、自ら思考し、自ら実践する生徒の育成

皆さんが社会で活躍する頃には、社会の構造や雇用環境が大きく変化し、現在とは全く異なった世の中になることが予想されています。そして今、社会から求められているのは、さまざまな価値観に触れ、幅広い視野に立って知識や技能を身に付けることです。

青洲高校では、皆さん一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化し、社会に出る力を備えた生徒、そしてこれからの社会で輝ける生徒の育成を目指します。

生み出すつながり 創り出すあした！

- 1年次に履修する「峡南地域学」は、「地域の防災」と「地域の伝統・文化」の2つを柱に、学科の枠を超えた共同学習で学びます。
- 「総合的な探究の時間」では、3年間を通じて、工業、商業を含めた幅広い探究活動に取り組みます。
- 答えが1つに決まらないテーマに挑む中で、変化の激しい時代を生き抜くために必要な思考力・判断力・表現力を育みます。





教育方針

1. 確かな学力の定着を図るとともに、主体的に社会を生き抜いていく生徒を育てます。
2. 多様性を認め合い、互いに協働しながら学び、活動し続ける生徒を育てます。
3. 地域・社会とのつながりを通して、社会に貢献できる生徒を育てます。



単位制高校の魅力

本校では単位制の強みを活かし、2年次から複数の類型を用意して多様な選択科目を開設します。生徒が自分の興味関心、学習ニーズに合わせた科目を選択することが可能です。

総合制高校の魅力

本校は、普通科・工業科・商業科をそれぞれ独立して設置した総合制高校です。各学科の専門性を生かして、生徒の興味関心や進路目標に応じた知識・技能・技術を高めることができます。



普通科

学力の充実と 進路実現を目指して



<市川高授業風景>

1年次では全員共通科目を履修、単位制を生かした習熟度別小人数授業を展開して基礎・基本の確実な定着を図ります。
 2年次では5教科のバランスをとりつつ複数の類型を用意して、それぞれのニーズに合わせた学力の伸張を図ります。
 3年次には総合制を生かして学科を横断した選択科目を用意し、個別・具体的な進路目標の実現を目指します。

手厚い学習指導

クラッシーなどICTを活用しながら、アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業や動画配信等による個に応じた学習を推進し、生徒の主体的な学習を引き出していきます。

土曜日や放課後、長期休業を利用した、学習会、補習、課外などを積極的に行い、学習を手厚くサポートします。



<市川高授業風景>



<市川高部活動風景>

カリキュラム・マネジメントによる主体性の育成

行事や部活動も主体性を育てるアクティブ・ラーニングの機会と捉え、学校生活全体を通じて生徒の主体的な取り組みを奨励していきます。本校は、大学進学を始めとする進路実現のその先を見据えた「社会に貢献できる人づくり」を目標としています。

英語類型

2年次からスタートする英語類型では、4技能をバランスよく強化し、英語による思考力・表現力を磨きます。単位数を増やした英語に重点を置きつつ理系大学進学希望者にも対応したカリキュラムを用意しています。英語によるディベートなどを通じて、文理問わずグローバルに活躍できる人材の育成を目指します。



<市川高授業風景>

5教科類型 (2年次)

国語	理社選択	日A	現社	数学	化学	体育	保	英語	総	H
----	------	----	----	----	----	----	---	----	---	---

英語類型 (2年次)

国語	理社選択	日A	現社	数学	化学	体育	保	英語	総	H
----	------	----	----	----	----	----	---	----	---	---

進路状況

普通科の進学実績等については、市川高校のホームページを参考にしてください。
 (URL : <http://www.ichikawa.kai.ed.jp/>)



工業科

未来の プロフェッショナルを目指して



入学時は学科に属さず、前期に機械系・土木系両学科のものづくり技術の基礎を学びながら、自分の所属する学科を決めます。後期からは各学科の授業が始まり、専門技術を磨きます。基礎となる普通教科の学習と併せて、資格取得や検定に積極的に取り組みながら自分の将来を見つめ、就職・進学之道を自ら拓いていきます。

機械工学科

機械系の見方・考え方を働かせ、見通しをもって実験・実習などを行い、ものづくりの基礎となる基本的な技術・技能を身につけ、地域産業の土台を支える製造業の担い手を育てます。

情報化が加速し、変化の先行きを見通すことが難しい時代の技術者は、生産性や効率を高めること以上に、答がない課題と向き合う力や製品が環境や社会生活に及ぼす影響に気を配る力が必要になります。

ものづくりに関する確かな知識や技術だけでなく、工業技術の持続的な発展に寄与できる、これからの職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。



土木工学科



生活や産業・経済活動に必要な道路や鉄道、ダム、上下水道、港湾などの社会基盤の新設と整備・保全に加え、持続可能な社会のための自然環境の保護と共存を支えるのが「土木」の仕事です。

「土木」に必要な基礎的・基本的な知識や技術を探究し、将来建設業界で幅広く活躍し、自然災害に強く持続可能な社会の構築に、意欲的に貢献できる土木技術者の育成を目指します。

また、現場管理者に必要な各種資格取得にも力を入れていきます。

機械工学科からは、取得した資格や技能を活用する県内外の有力製造関係各社へ即戦力としての就職が期待されます。また、土木工学科では、土木現場を管理するための国家資格や土木技術者としての技術・技能を取得・習得した後、即戦力として県内外の有力建設会社等への就職が期待されます。また、両科ともに大学を始めとする上級学校へ進学することも可能です。詳しい進路実績については峡南高校ホームページ(下記URL)を参考にしてください。

また、取得可能資格についても同HP内の学科紹介タブをご覧ください。

(URL : <http://www.kyonanh.kai.ed.jp/>)



商業科

未来のビジネス パーソンを目指して



<増穂商高授業風景>

1年次は学科に属さずに、商業の専門科目の中でビジネスの諸活動に必要な基礎的な知識や技術を身につけます。2年次からは、2つの学科にわかれてより専門的な学習を行い、幅広い知識を学びながら専門性を深め、将来の進路選択に繋げるとともに、高度な資格取得にも取り組んでいきます。

ビジネス探究科

ビジネスの諸活動について主体的に探究し、地域連携や観光ビジネスなどの実践的・体験的な学習を通して知識や技術を身につけ、将来の起業家となり得る人材育成を目指します。

多様な選択科目を通じて将来の職業を探究し、その実現に向けた学習を進めていきます。また、地域活性化をコンセプトに、地元特産品などを利用した商品開発やその販売実習を行い、地域貢献に取り組むと共に、自らのコミュニケーション能力の充実にも繋げていきます。



<増穂商高授業風景>

ビジネス情報科



<増穂商高情報実習風景>

プログラミングやネットワークの活用など、情報処理に関する専門的な知識や技術の習得を中心に、ビジネスに関する様々な学習を通して、高度情報化社会の担い手となる人材の育成を目指します。

急激に進化する情報化社会に対応し、企業や地域において中心的役割を担う人材となれるよう、コンピュータに関する基礎的な利用技術の習得からプログラム作成やネットワーク管理などの高度な知識の学習まで、幅広く取り組んでいきます。

ビジネス探究科では、将来の「地域社会のビジネスリーダー」として活躍できる人材を育成します。また、3年間の学習の中で取得する数多くのビジネスに関する資格は、職業の選択や大学・専門学校への進学に大いに活用できます。

ビジネス情報科では、情報処理に関する資格取得や国家試験にも挑戦し、自らのキャリアアップへと繋がります。卒業後は、企業等におけるコンピュータを活用した職種への就職や、さらに専門性を高めるために、大学や専門学校へ進学も可能です。

詳しい進路実績については、増穂商業高校ホームページを参考にしてください。また、取得可能資格についても下記URLの学科紹介ページを参考にしてください。(URL: <http://www.masuho-chs.kai.ed.jp/>)



年間行事(1年次生関係)

4月	開校式・入学式 部活動体験入部	10月	体育大会 新人大会
5月	県高校総体	11月	県芸術文化祭 峡南・増穂学園祭参加
6月	第1回定期試験 インターハイ予選	12月	第3回定期試験
7月	学園祭 (市川高校と合同)	1月	情報処理検定 簿記検定
8月	学校説明会 基礎学力テスト	2月	スキー教室 第4回定期試験 QC検定
9月	第2回定期試験 前期終業式	3月	卒業式 後期終業式

<1年次の主な学校行事>

- ・学園祭：市川高校と合同での開催を予定しています。峡南・増穂商両校の学園祭にも関わる方向で検討中です。
- ・峡南地域学：1年次必修の学校設定科目です。地域に学ぶフィールドワークを計画しています。
- ・スキー教室：1泊2日の日程で長野方面に出かける予定です。

日課表

8:35～ 8:45	S HR	12:20～13:05	昼休み
8:50～ 9:35	1校時	13:05～13:50	5校時
9:45～10:30	2校時	14:00～14:45	6校時
10:40～11:25	3校時	14:55～15:40	7校時
11:35～12:20	4校時	15:40～15:55	清掃 放課

部活動(令和2年度予定)

■令和2年度は、原則として市川高校と合同で活動します。また、部員数に応じて峡南・増穂商を含めた合同チームを作る場合もあります。

体育局

- ・野球(男)(※注1)
- ・バスケットボール(男女)
- ・サッカー(男)
- ・ソフトテニス(男女)
- ・バドミントン(男女)
- ・バレーボール(女)(※注2)
- ・陸上
- ・テニス
- ・弓道
- ・空手道
- ・応援

文化局

- ・書道
- ・美術
- ・茶道
- ・華道
- ・吹奏楽
- ・音楽
- ・写真
- ・ユネスコ
- ・ESS
- ・家庭
- ・工業研究
- ・商業研究

H30年度 3校の主な成績

- バスケットボール(男：市川)
 - ・関東大会出場(高校総体優勝)
 - ・インターハイ出場(県予選優勝)
 - ・ウインターカップ出場(県予選優勝)
 - ※R1年度インターハイ出場(県予選優勝)
- 弓道(市川)
 - ・東日本大会出場
- ソフトテニス(男：市川)
 - ・関東大会出場
- 空手道(市川)
 - ・関東大会・関東選抜大会出場
- 音楽(市川)
 - ・NHK関東甲信越大会出場(県大会金賞)
- バレーボール(女：増穂)
 - ・関東大会出場
 - ※R1年度インターハイ出場(県予選優勝)
- 商業研究(増穂)
 - ・簿記・電卓・珠算の部 全国大会出場

(※注1) 野球部は4校合同で活動します。

(※注2) バレーボール部(女)は増穂商業高校と合同で活動します。

(※注3) 4校が新設校舎に揃う令和3年度には、設置部活動について再検討する予定です。



前期募集情報

● 志願してほしい生徒像

- (1) 基本的な生活習慣を身につけており、本校を志願する動機や目的が明確な生徒
- (2) 自らの将来について真剣に考え、努力を惜しまず意欲的に取り組める生徒
- (3) 社会に目を向けて、積極的に人や社会と関わろうとする生徒
- (4) 生徒会活動、体育的活動、文化的活動、ボランティア活動等において優れた資質や実績を持っている生徒

● 前期募集選抜方法

- (1) **募集定員に対する募集率** 普通科・工業科・商業科 とも 40%以内
- (2) **出願の条件** 「志願してほしい生徒像」に該当し、次にあげる条件 A または B を満たす生徒

条件 A

- 【普通科】 学習成績が優良で普通科を志願する理由が適切であり、進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒
- 【工業科】 工業関係の専門的知識や技能の習得に高い関心を持ち、進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒
- 【商業科】 ビジネス活動に関する専門的知識や技術の習得に高い関心を持ち、進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒

条件 B

【全 科】 本校の学習に適應できる学力を有し、次の(1)(2)のいずれかに当てはまり、入学後もその活動を継続する強い意志がある生徒

- (1) 部活動について
 - (ア) 次の体育的・文化的活動において顕著な成績を収めた生徒、または優れた能力と適性を有する生徒
野球（男）、バスケットボール（男）、バレーボール（女）、合唱
 - (イ) 上記以外の体育的・文化的活動において、顕著な成績をおさめた生徒
- (2) 生徒会活動等について
生徒会長または副会長としてリーダーシップを発揮した生徒、あるいはボランティア活動や地域貢献活動に継続的かつ主体的に取り組んだ生徒

(3) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	所見	特色適性検査	特技
条件A	50	20	5	25	—
条件B	30	20	5	15	30

※調査書の学習の記録は、第1学年から第3学年を評価の対象とする。

※特色適性検査は、条件Aは各学科別の問題、条件Bは共通問題で行う予定。

Q&A

Q1. 新しい校舎はいつ完成する予定ですか？

A. 令和2年2月末に完成の予定です。新校舎は現在の市川高校の隣接地に建設中で、広くて開放的な図書館（アカデミック・スクエア）を中心に据えた、斬新な作りになっています。

Q2. 新しい学校の特徴を教えてください。

A. 県内公立初の単位制・総合制高校です。定員は県内最大規模で、多様な興味関心を持った仲間が集まり、勉強に部活動に切磋琢磨できます。先生方も普通科・工業科・商業科それぞれのエキスパートが揃い、生徒の多様な進路に対応できます。

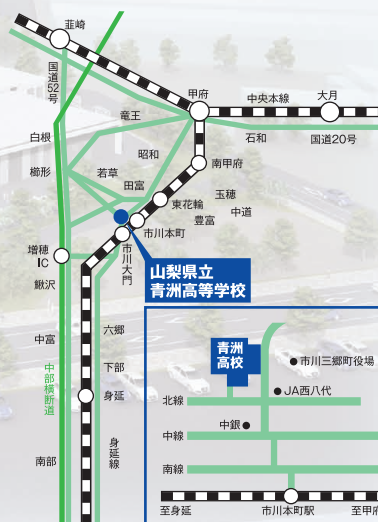
Q3. 入学者選抜検査はどのように行われますか？

A. 他の公立高校と同日程で、前期・後期募集を行います。定員は11月上旬に発表されます。検査会場は、前後期とも現市川高校を予定しています。工業科・商業科は一括くり募集とし、後期募集では3学科をまたぐ第2希望制を導入します。

Q4. 部活動はどのように行われますか？

A. 令和2年度は、野球（4校合同）女子バレーボール（増穂商業と合同）を除き、同じ校舎に入る市川高校と合同で活動する予定です。各部とも部員増が見込まれ、切磋琢磨する中で全国大会出場を目指します。

MAP



山梨県立青洲高等学校

<http://www.newprefhs.kai.ed.jp/>

〒409-3601 西八代郡市川三郷町市川大門1733-2

- JR身延線市川本町駅より徒歩10分
- 中部横断道増穂ICより車で10分